



Chiba Kogyo Bank

REPORT 2017

中間ディスクロージャー誌

平成30年3月期 営業のご報告

ごあいさつ

平素より、千葉興業銀行をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。
ございます。

平成29年度中間期の経営内容や業績、CSRの取組み等を中間ディスクロージャー誌にまとめました。ご高覧いただければ幸いです。

平成29年度中間期におけるわが国経済は、個人消費や企業の生産活動が持ち直すなか、企業収益が高い水準を維持する等、日本経済は引き続き緩やかな回復が続きました。一方、欧米各国の政策動向による海外経済の不確実性や、朝鮮半島をはじめとする地政学リスクが景気の下押し要因となる懸念があり、先行きは依然として不透明感が漂っています。

千葉興業銀行グループが営業基盤とする千葉県経済につきましては、個人消費に持ち直しの動きがみられるほか、倒産件数が低位で推移し、雇用環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調を維持しております。

このような金融経済環境のもと、私たちは平成28年4月にスタートさせた中期経営計画「コンサルティング考動プロジェクト2019」に基づき、具体的な戦略施策を積極的に展開してまいりました。

コンサルティング営業活動による資金需要の掘り起こしや、お取引先の資金ニーズに対し的確にお応えした結果、中小企業向け貸出を中心とした貸出金残高は順調に増加しております。

私たちは「コンサルティング・バンクの確立」実現に向け、より一段と地域・お客さまのお役に立ち、ともに成長を持続していくために、お客さまを第一に考える「コンサルティング考動の実践」をコア戦略として、役職員一丸となって取り組んでまいります。

今後とも、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年1月



取締役頭取・CEO

青柳 俊一

プロフィール

Profile

名称	株式会社千葉興業銀行 [英文表示] The Chiba Kogyo Bank, Ltd.
本店所在地	千葉市美浜区幸町二丁目1番2号
設立年月日	昭和27年1月18日 (営業開始:昭和27年3月3日)

資本金	621億2,053万3,949円
店舗数	74店舗 (県内72店舗、都内2店舗)
従業員数	1,406名



ちば興銀は、次世代認定マーク「くるみん」、女性活躍推進法認定マーク「えるぼし」を取得しています。



当行は、お客さま第一の“コンサルティング考動の実践”をコア戦略として数々の取組みを行い、「コンサルティング考動」を強力に推進するための本部サポート体制を構築いたしました。

コア戦略

お客さま第一のコンサルティング考動の実践

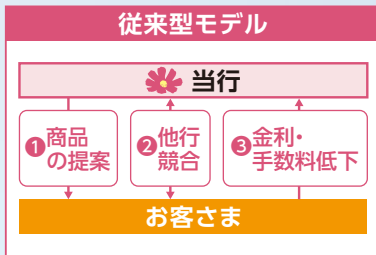
人材・組織基盤強化

- 組織力(本部体制)の強化
- 人材育成の強化
- 外部連携

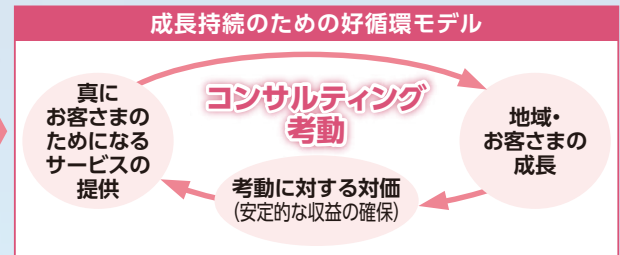


営業基盤強化

- 顧客基盤の拡充
- 事業性評価に基づく地元企業の成長支援
- お客さまニーズに応える店舗戦略



コンサルティング・
バンクの確立
||
ニーズ対応力強化
収益の多角化
(顧客基盤強化)



	平成27年度実績		平成28年度実績	
	金額	割合	金額	割合
コア業務粗利益	353	—	332	—
うち預貸金収益	234	66%	224	67%
うち役務収益(※)	89	25.39%	84	25.43%

収益構造
の
変革

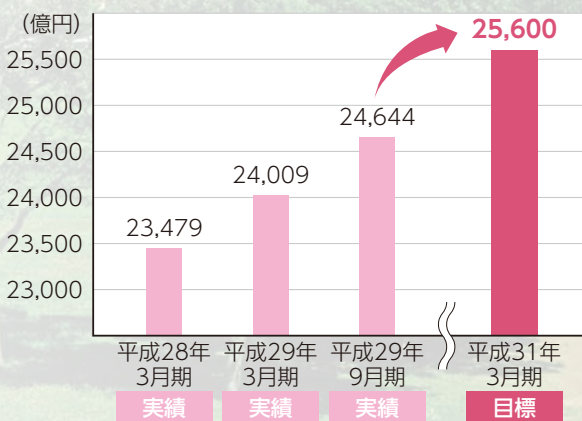
	平成29年9月実績	
	金額	割合
コア業務粗利益	160	—
うち預貸金収益	108	67%
うち役務収益(※)	44	27.94%

	平成30年度計画	
	金額	割合
コア業務粗利益	353	—
うち預貸金収益	229	65%
うち役務収益(※)	107	30%

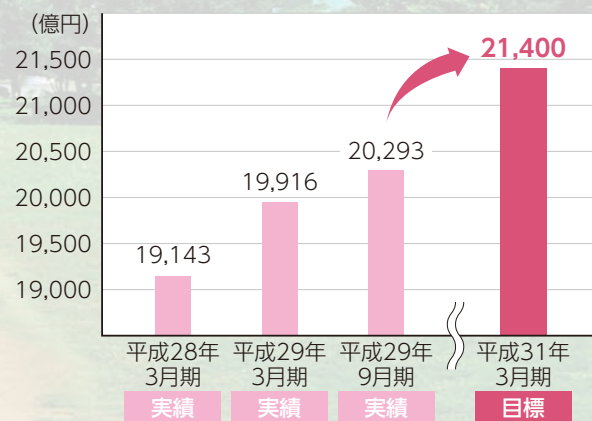
役務収益
比率30%を
めざす

※対顧デリバティブ収益を含む

預金



貸出金



目次

Contents

ごあいさつ	1
中期経営計画	2
業績のご報告(単体)	3
地域とともに	
地域密着型金融の推進に関する基本的な考え方	5
中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組み状況	5
ダイバーシティ推進に向けた取組み	10

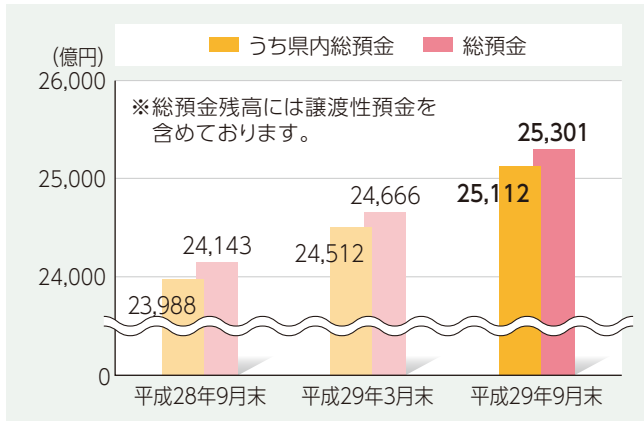
お客さまのために	
安心・安全にご利用いただくために	11
さらに快適で機能的な店舗へ	12
「親切」の心で	
CSRの取組み ～地域社会・地域経済への貢献～	13

業績のご報告(単体)

平成29年9月期の業績につきましては、預金・貸出金ともに順調に増加しました。特に貸出金残高につきましては、当行が持つコンサルティング機能を発揮し、地域のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えしてまいりました結果、中小企業向け、個人向け貸出ともに増加しております。

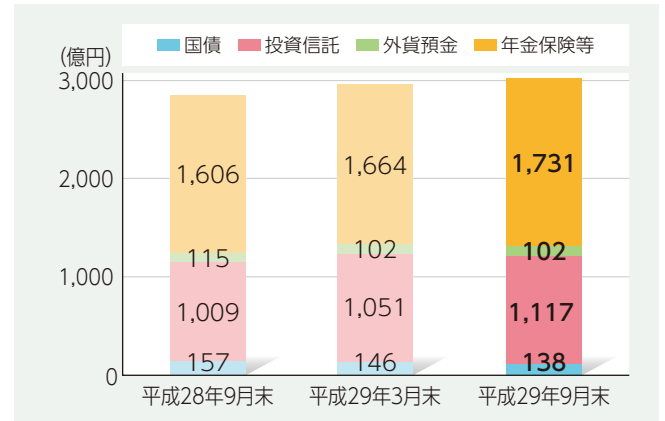
総預金残高

総預金残高は、法人預金、個人預金ともに増加し、前年同期比1,157億円と大幅に増加し、2兆5,301億円となりました。



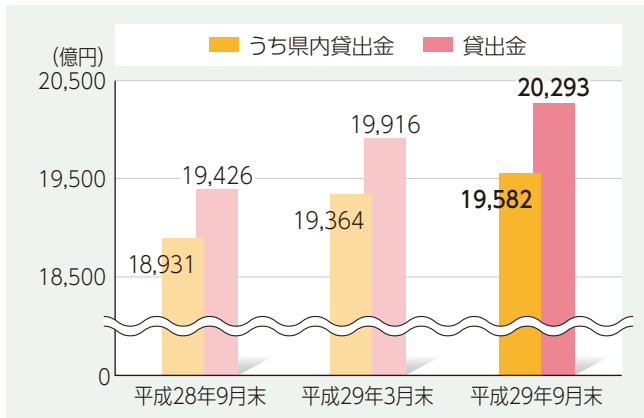
預り資産

年金保険等は、前年同期比124億円増加し、1,731億円となりました。また投資信託は、前年同期比108億円増加し、1,117億円となりました。



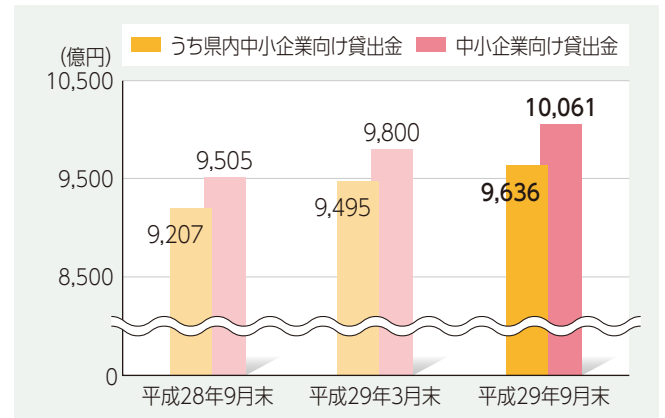
貸出金残高

貸出金残高は、前年同期比866億円と大幅に増加し、2兆293億円となりました。そのほとんどを県内の企業や個人のお客さまへの貸出しに向けております。



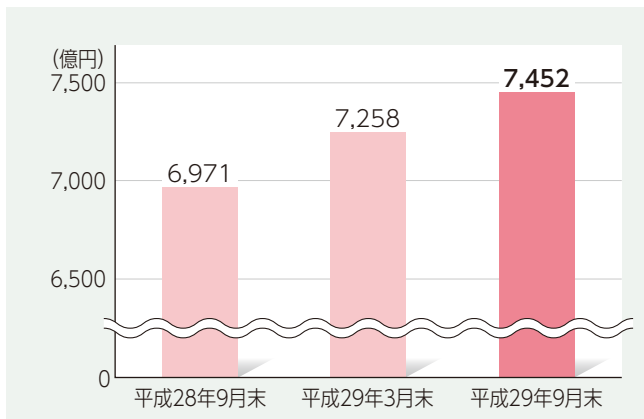
中小企業向け貸出金残高

中小企業向け貸出金残高は、前年同期比555億円増加し、1兆61億円となりました。



住宅ローン残高

住宅ローン残高は、住宅販売会社との連携強化等により、前年同期比481億円増加し、7,452億円となりました。

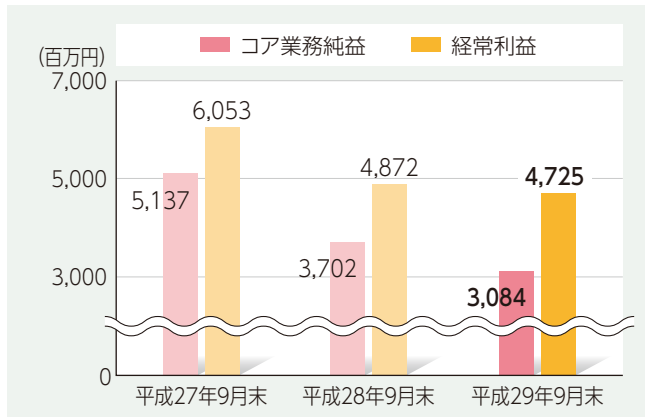


グラフ等に記載の計数および解説文中の計数は単位未満切捨て表示となっております。

(注) 当行は主要な営業地域を千葉県内としておりますので、千葉県内の営業店舗の合計計数を「県内」計数として表示しております。

コア業務純益・経常利益

貸出金残高は順調に増加したものの、利回りが低下したため、資金利益は減少しました。これにより、コア業務純益は、前年同期比6億17百万円減少し、30億84百万円となりました。また、経常利益は、前年同期比1億46百万円減少し、47億25百万円となりました。

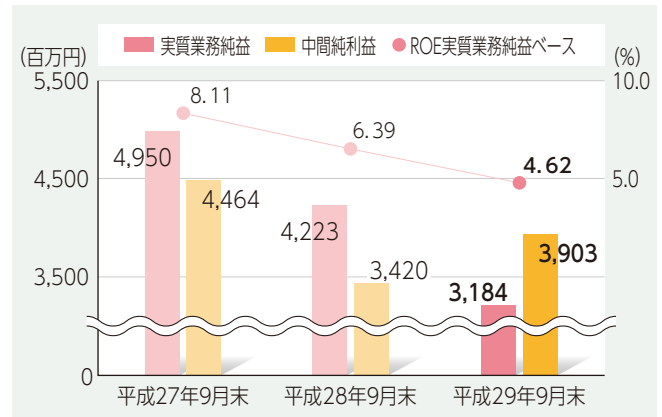


コア業務純益

$$\text{コア業務純益} = \text{一般貸倒引当金繰入前の業務純益} - \text{国債等債券関係損益}$$

実質業務純益・中間純利益・ROE (株主資本利益率)

実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前の業務純益)は、前年同期比10億39百万円減少し、31億84百万円となりました。中間純利益は、前年同期比4億82百万円増加の39億3百万円となりました。その結果、ROE(株主資本利益率)は、実質業務純益ベースで前年同期比1.76ポイントの減少となりました。



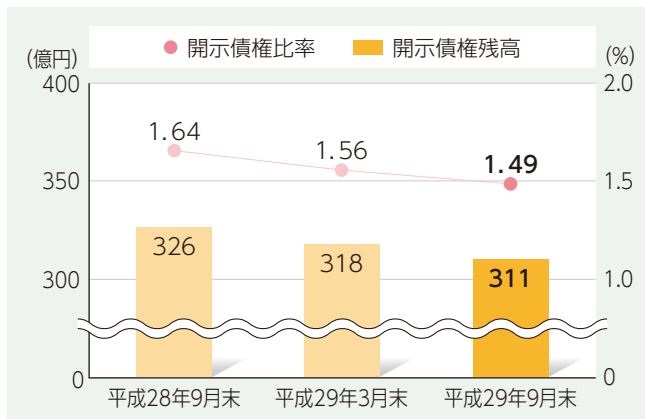
ROE(実質業務純益ベース)

$$\text{ROE(株主資本利益率)} = \frac{\text{実質業務純益}}{\text{純資産の部合計平残}} \times 100$$

値が大きいくほど株式資本の「収益性」が高いことを示しています。

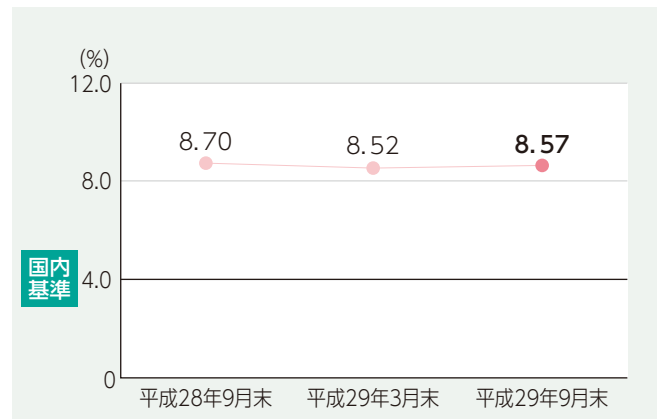
開示債権比率(金融再生法基準)

お取引先企業と強固なリレーションを構築し、経営改善の支援に取り組んだ結果、金融再生法基準の開示債権比率は、平成29年3月末比0.06ポイント減少の1.49%、正常債権を除いた「開示債権」の平成29年9月末残高は、平成29年3月末比6億円減少の311億円となりました。



自己資本比率(バーゼルⅢ)

自己資本比率は、平成29年3月末比0.05ポイント上昇し、8.57%となりました。



事業性評価への取組み

地域密着型金融の推進による地域経済や地元の産業・企業の発展への貢献に向け、財務データや担保・保証に必要以上に依存することなく、お取引先企業の事業内容や成長可能性等を適切に把握した上で(事業性評価)、これまで以上に、企業の各種ニーズや経営課題に対する各種ソリューションを提供してまいります。

事業性評価にあたっては、お取引先企業の財務状況などの定量的な分析に加え、企業のビジネスモデル、商流、組織力、技術力といった定性的な分析を行い、経営課題やニーズの把握を行ってまいります。

経営者保証に関するガイドラインへの対応

経営者保証に関するガイドラインの趣旨や内容を十分に踏まえ、経営者保証に依存しない融資の促進と、既存の保証契約の見直しに取り組んでおります。

	平成28年度実績	平成29年度上期実績
新規で無保証で融資した件数	1,509	739
保証契約を変更した件数	2	2
保証契約を解除した件数	27	21
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	12.3%	13.1%

地域密着型金融の推進に関する基本的な考え方

企業理念 地域とともに お客さまのために「親切」の心で

この企業理念の実践こそが、地域密着型金融の実現そのものであると考えております。地域の中小企業・個人事業主、個人のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えし、円滑な資金供給に努めるとともに、地域の中小企業等に対する経営支援や地域経済の活性化に積極的に貢献し、地域金融機関としての責務を果たしてまいります。

当行は、地域密着型金融の推進にあたり、①お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮、②地域の面的再生への積極的な参画、③地域や利用者に対する積極的な情報発信の取組みを、中長期的な視点に立ち、全行的取組みとして継続的に推進し、当行顧客基盤の拡大および収益力、財務健全性の向上につなげてまいります。

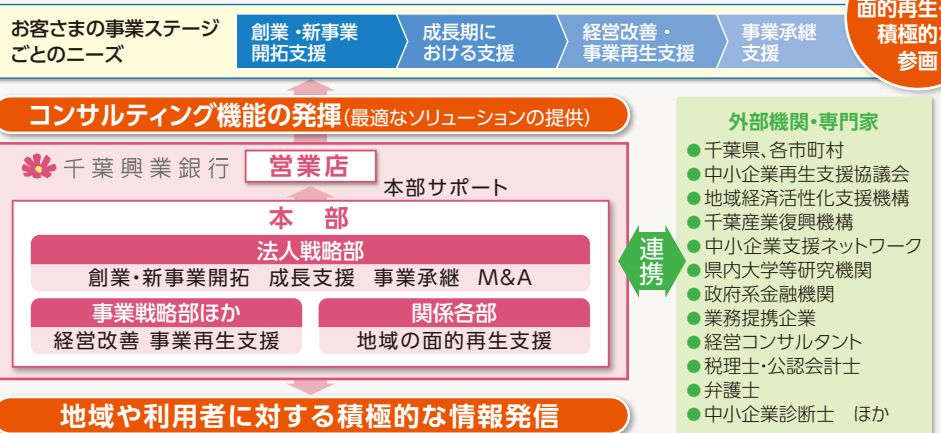
中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組み状況

1 中小企業の経営支援に関する取組み方針

当行は、地域の中小企業等のお客さまの状況をきめ細かく把握し、関係する他の金融機関等と十分連携を図りながら、円滑な資金供給に努めるとともに、お借入条件の変更等のご相談へ適切に対応してまいります。特に、地域金融機関として地域経済の活性化および地域における金融の円滑化等に向け、「地域密着型金融推進に関する基本方針」「金融円滑化に関する基本方針」に基づき、コンサルティング機能の発揮を通じ、中小企業をはじめとするお客さまの経営改善等に向けた取組みを積極的に支援してまいります。

2 中小企業の経営支援に関する態勢整備

当行は、中小企業等の経営の改善および地域の活性化に向け、本部と営業店との協働や、外部機関・専門家の活用・連携により、中小企業等のお客さまの抱える経営課題に対し、適切なコンサルティング機能を発揮できる態勢を整備しております。また、当行は、中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」の認定を受けております。



3 お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮(中小企業の経営支援に関する取組み状況)

お取引先企業の事業ステージの見極めと最適なソリューションの提供に努めております。

(1) 創業・新事業開拓をめざす企業に対する支援

- 対応方針**
- ・公的な補助金や制度融資、企業育成ファンド等を活用し、事業立上げ時の資金需要へ積極的にお応えしております。
 - ・産官学連携を活用し、企業の技術評価と製品化・商品化、販路開拓、人材確保等を支援しております。

中小企業育成支援

千葉元気印企業大賞

フジサンケイ ビジネスアイとの共催で、活力溢れる経営で時代を先取りする中小企業・ベンチャー企業を広く表彰することを通じて地域企業の発展を支援しております。



(2) 成長段階にある企業に対する支援

対応方針

- ・ビジネスマッチングや技術開発支援による販路拡大支援、海外進出等の新たな事業展開に向けた情報の提供、事業拡大に必要な調達手段の多様化への対応等積極的に支援しております。
- ・中小企業基盤整備機構等の公的機関、地方公共団体や中小企業支援団体、他の金融機関等と連携し、企業が成長する過程で必要なサポートを行っております。

医療・介護分野への支援

千葉商科大学の医療関連セミナーで講演

【平成29年5月】

千葉商科大学の医療関係者向けセミナーに当行行員が講師として招かれ、「医療・福祉施設への金融機関としての融資判断のポイント」のテーマで講演いたしました。

医療・介護業界の特徴とともに、銀行がどのような目線をもって融資判断を行っているか等の説明をいたしました。

当行は金融機関では初となる「医療経営士1級」合格者を含めた、医療経営士資格保有者が多数在籍し、医療・介護事業者の皆さまからの各種ご相談に対応しております。



医療事業者向けローンに「ガン団信」を追加しました！

【平成29年11月】

県内初!

「ちば興銀開業医ローン」・「ちば興銀メディカルローン」に、ガン保障付き団体信用生命保険を追加しました。これまでと同様に保険料は当行が負担しますので、保障内容の拡充に伴うお客さまの負担増加はありません。

ご利用しやすくなって、内容も充実した医療事業者さま向けローンは、より多くの方のニーズにお応えできるものとなっております。

商品の主な特徴

- 1.「開業医ローン」「メディカルローン」の団体信用生命保険に、カーディフ生命保険の「ガン保障付き団体信用生命保険」を追加しました。
- 2.「開業医ローン」の融資対象者に、19床以下の医療法人を追加しました。^(※1)
- 3.「開業医ローン」のご利用上限金額を1億円から2億円に引き上げました。^(※2)
- 4.開業医(個人事業主)が法人成りした際、これまでは団体信用生命保険が消滅していましたが、連帯保証人(代表者)のみを保険対象として継続可能となりました。^(※1)

※1 カーディフ団信利用時 ※2 カーディフ団信・地銀協団信併用時

アグリ・フードビジネスへの支援

「道の駅」活性化事業を支援！

【平成29年9月】

当行お取引先が、南房総市にある「道の駅 白浜野島崎」を活性化させようと指定管理者になったことから、当行はこの事業を支援し、地域を元気にする取組みをともに開始しました。

第一弾として「道の駅」に農産物等の直売所を建設します。直売所の隣地には、いちご狩りができるよう高設栽培システムを整備したハウスが用意されており、さらなる規模拡大も計画されています。

この事業により、地元南房総市においては以下のような効果が期待されています。

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| ① 耕作放棄地や遊休ハウスの活用 | ③ 直売所で、地元農家が生産した野菜・花き・果物の販売 |
| ② 高齢者や障がい者も含めた雇用の促進 | ④ 観光客の誘致 |

当行は本件事業推進にあたり、設備資金の提供だけでなく、当行コンサルタント支援室アグリ・フードビジネス担当が南房総市と連携し、計画の初期段階から関与して支援を行っております。本件事業は、地域の農業再生に貢献していくとともに、地域経済にも大きく寄与するものと思われま。



海外進出支援

期間限定「チーバくんcafé in 台湾」の開催 【平成29年7月】

当行創立65周年記念イベントの一環として、台湾において千葉県
の魅力を伝え、国際観光振興を促すイベントを開催いたしました。

千葉県の観光プロモーション活動に加え、当行お取引先企業の商品
やサービスのPRの場としてご活用いただきました。

イベント内容 (7月15日・16日)

- 千葉県の魅力を伝える情報発信
- 県PRマスコットキャラクター「チーバくん」来店
- 参加企業の自社商品PR
- 県産日本酒の試飲、焼き菓子の試食、ほか

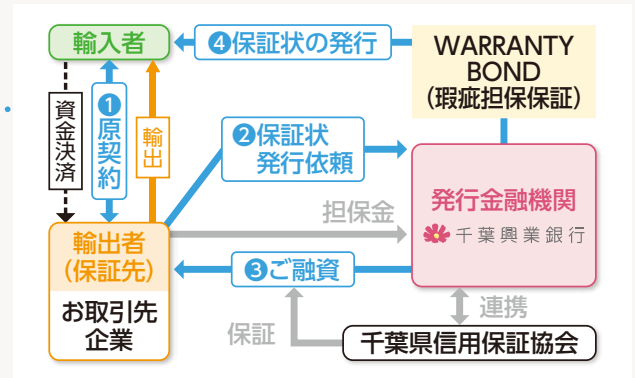


全国初の保証スキームを活用し、 輸出案件を支援！ 【平成29年6月】

千葉県信用保証協会が全国で初めて創設した『L/G
輸出パック保証』(*)を活用し、お取引先からの依頼に
基づき保証状を発行しました。

万が一、保証条件に該当する支払請求があった場合
には、当行が原契約に関わらず、無条件で輸入者さまに
保証金額をお支払いするという効力が生じ、当社の輸出
取引の円滑化を図ることが可能になります。

※海外の市場開拓に向けた県内中小企業者・小規模事業者の「輸出」を支援するメニュー拡充のため平成29年3月に千葉県信用保証協会に
よって創設された仕組みであり、全国の信用保証協会での初の保証スキームです。



お取引先の海外進出に伴い、現地での資金調達を支援！ 【平成29年6月】

平成28年12月に締結した
芙蓉総合リース株式会社との
海外ファイナンスの取組みに
関する業務連携に基づき、当行
お取引先の米国現地法人に
対し、債務保証を行いました。

これにより、当社は米国市場
での資金調達が可能となりま
した。

スキーム図



※スタンバイ・クレジット (Stand-by Letter of Credit) とは、債務保証などのために発行依頼人の
委任と指図に基づいて、銀行が支払いを保証する取消不能信用状のことです。

日本貿易保険 (NEXI) との業務提携を開始！ 【平成29年11月】

当行は株式会社日本貿易保険 (略称:NEXI) と「貿易
保険業務委託契約」を締結しました。

NEXIとの業務提携により、海外とのビジネスを行う
当行お取引先に貿易保険を紹介し、ご利用いただくことで
輸出の代金回収リスクを軽減させ、貿易取引のサポートを
より強化してまいります。

貿易保険の種類

- 中小企業・農林水産業輸出
- 貿易一般保険包括保険
代金保険
- 貿易一般保険 (個別保険)
- 簡易通知型包括保険
- 貿易一般保険包括保険
(企業総合)
- 限度額設定型貿易保険
- 海外投資保険

(3) 経営改善・事業再生が必要な企業に対する支援

対応方針

- ・経営課題の把握と分析による取引先企業の事業持続可能性を踏まえた経営改善・事業再生等に対して積極的に取り組んでおります。
- ・経営改善・事業再生支援の実効性を向上させるため、行員のスキルアップに取り組んでおります。

経営改善 × 事業性評価

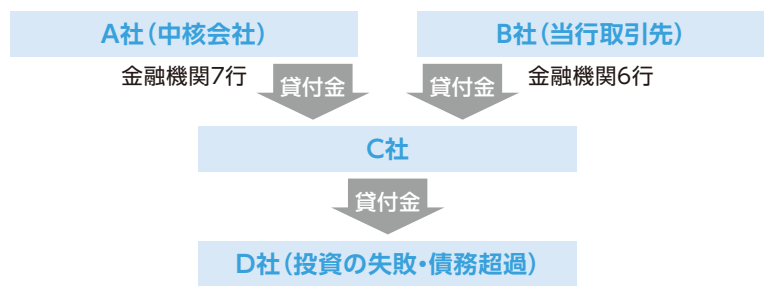
経営サポート支援事例

《お取引先の課題・問題点》

A社グループは、過去の投資の失敗により債務超過に陥った関連会社D社の資金繰りのため、グループ各社から資金を融通していました。

グループ各社は各々多くの金融機関と取引していましたが、メインバンクもなく、公的機関等へ支援要請するも採り上げてもらえず、経営改善は進みませんでした。

《資金の流れ図》



取組み

当行は、B社の下位取引行でしたが、A社グループが上記のような課題と問題点を抱えていることを把握したことから、事業性評価を行い、根本的な経営改善を社長へ独自に提案し実行しました。

事業性評価ポイント

- ① 中核事業は競合他社が少なく、ノウハウの蓄積による競争力を有していること
- ② 一定のリストラを行うことで収益力の改善が期待できそうであること
- ③ 経営者・後継者ともに経営改善意欲が高いこと

結果

当行の提案による事業計画に基づき、キャッシュフローに合わせた長期返済へのシフトを目的に当行はグループ各社の貸付金を一本化しました。これにより、お取引先は各金融機関との返済交渉がなくなり、本業に専念できる環境となりました。

(4) 事業承継が必要な企業に対する支援

対応方針

- ・事業承継問題は当該企業の存続のみならず、取引先との商流、従業員の雇用、地域への影響等も大きいことから、経営者へ積極的に関与しております。
- ・必要に応じて税理士や弁護士等の外部専門家と連携し、自社株評価や相続税試算等を行い、相続や自社株譲渡の対策、後継者の株式買取資金を支援しております。
- ・資産の承継以外にも、事業の見直し(第二創業)、ノンコア事業の切り離し、M&A、後継経営者の人材育成等、存続に必要な提案を積極的に行っております。

次世代経営者育成支援

ちば興銀「経営塾」の運営

ちば興銀「経営塾」は地元企業育成支援・後継経営者育成支援の取組みのひとつとして、平成16年9月に設立されました。幅広い視点で経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的開催し、海外視察研修なども実施しております。

平成29年5月からは、次世代を担う若手経営者41名が第7期生として活動をスタートしております。



4 地域の面的再生への積極的な参画 (地域の活性化に関する取組み状況)

対応方針

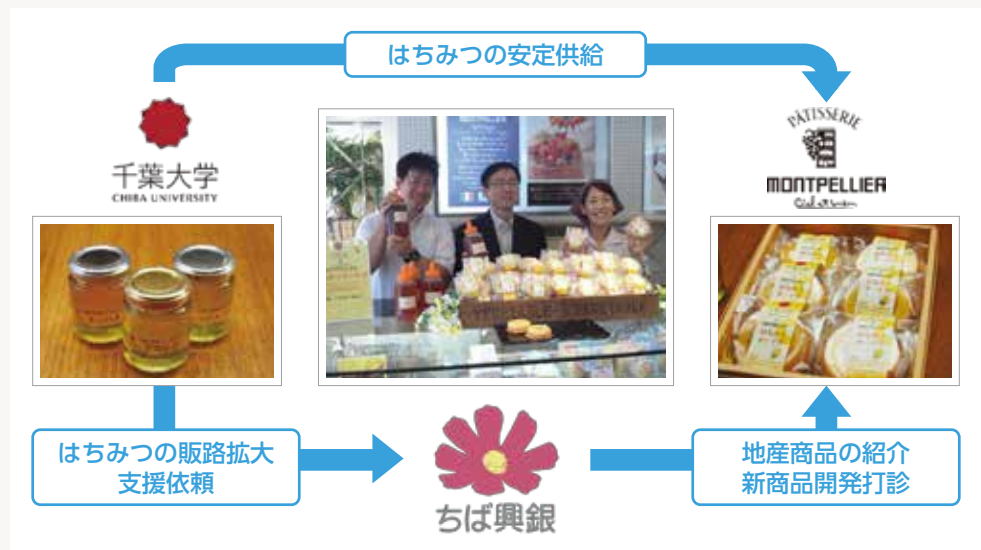
- ・「医療・介護・福祉」や「農林水産」といった成長分野事業の育成を通して地域経済の活性化につなげております。
- ・地方公共団体や中小企業支援団体と連携し、地域情報の収集・蓄積と分析、ノウハウ・人材の提供を行っております。

地方創生推進への取組み

千葉大産「純粋はちみつ」を使用した千産千消ドーナツ完成！【平成29年6月】

千葉大学 柏の葉キャンパスで採れた「純粋はちみつ」を、当行お取引先である創作洋菓子の老舗モンペリエさまに紹介し、コラボ商品「はちみつドーナツ」が完成いたしました。

県産はちみつを贅沢に使用した「はちみつドーナツ」は、モンペリエ市川本店のほか、JR千葉駅のペリエ千葉エキナカでも販売され、大好評となりました。



千葉大学と「連携協力に関する基本協定書」を締結【平成29年6月】

包括連携協力により、学術・文化の振興と活力ある地域社会経済の形成を図り、地域社会に貢献してまいります。



「地方銀行フードセレクション2017」

【平成29年11月】

東京ビッグサイトで開催された「地方銀行フードセレクション2017」に参加いたしました。当行お取引先4社が各社自慢の商品を出展し、来場したバイヤー等に対して試飲、試食を通じた幅広い商談を行っていただきました。



「千産千商2017in聖徳祭」

【平成29年11月】

今回で8回目となる聖徳大学短期大学部との産学連携協定に基づく活動のひとつとして、8先の当行お取引先が同大学学園祭に出展し、展示・販売を通して多くの消費者にPRいたしました。



「國學院大學ホームカミングデー」

【平成29年10月】

國學院大學 渋谷キャンパスにて開催の「ホームカミングデー院友会支部物産展」に当行お取引先6社が千葉県名産品の出展および観光案内などを行い、地域活性化への協力を行いました。



ダイバーシティ推進に向けた取組み

当行は、ダイバーシティの取組みを推進しております。これからも、誰もが理解し合い、納得できる働き方を実践し、多様な人材が能力を発揮できる環境づくりに努めてまいります。

地方
銀行
初!

従業員のキャリア形成支援

「グッドキャリア企業アワード2017」大賞受賞 (厚生労働大臣表彰)！【平成29年11月】

当行は「グッドキャリア企業アワード2017」において、地方銀行で初めて「大賞(厚生労働大臣表彰)」を受賞いたしました。

本表彰制度は、厚生労働省が平成24年度に創設したもので、他の模範となるキャリア支援の取組みを推進している企業などを表彰し、周知することで、企業の取組みを促進することを目的としています。

当行が評価された取組み内容等は以下のとおりです。



有楽町朝日ホールでの授賞式の様子
後列左が青柳頭取

評価のポイント

個々の従業員とのコミュニケーション機会の充実による自主性を重んじたキャリア開発支援

- 内定者全員との面談や、全従業員と人事部のキャリア面談(半年に1回CDP面談)の実施、「キャリア開発研修会」の開催、キャリア開発支援窓口・外部相談窓口の設置などの取組みにより、**正規・非正規社員を問わず、個々の従業員とのコミュニケーション機会を多く設定し、従業員の主体的なキャリア形成を支援。**
- 幅広い分野の通信講座を提供し、資格・検定試験合格者に対して奨励金を支給(自己啓発資格取得奨励金制度)。また、難易度の高い資格を受験するためのスクール費用等を援助する「ハイススキル自己啓発支援制度」も実施。
- 非正規社員について、**正規社員に転換する「行員転換制度」や、職位や勤務地等に制限のある限定正規社員に転換する「アソシエイト行員制度(限定正規社員制度)」を導入。**

ワーク・ライフ・バランスへの取組み

「パパ・ママ・スマイルセミナー」開催【平成29年5月・9月】

当行行員であるパパ・ママとその配偶者、結婚・出産を控えている方などを対象とした「パパ・ママ・スマイルセミナー」を従業員組合と共同で、本店大会議室にて開催いたしました。

9月開催のセミナーには、千葉大学との連携協力に基づく活動のひとつとして、千葉大学副理事 男女共同参画部門長 森 恵美氏を講師にお招きし、ご講演いただきました。

自分らしいワーキングママになるための準備やポイントについて学びました。



セミナー(9月開催)の様子

ダイバーシティ推進に向けた当行のさまざまな取組みが評価され、これまでに以下の表彰・認定を受けております。

次世代認定 マーク 「くるみん」



当行が取り組んできた従業員に対する各種の育児支援策などが評価され、当行は**千葉県における第1号の認定企業**となりました。現在は3回目の認定です。

女性活躍推進法 認定マーク 「えるぼし」



当行は、女性活躍推進法が定める5つの評価項目すべての基準を満たしていることから、**最も高い評価である「3段階目」の認定を千葉県で初めて取得**しております。

「パートタイム 労働者活躍推進 企業表彰」優良賞



厚生労働省から、平成28年度「パートタイム労働者活躍推進企業表彰」において「優良賞(雇用均等・児童家庭局長優良賞)」を受賞いたしました。パートタイム労働者の活躍促進に積極的に取り組んでいる企業として表彰されました。

安心・安全にご利用いただくために

お客さまの大切な預金をお守りするために、さまざまな取組みを行っております。

ATM画面での「電話de詐欺」注意喚起

年金支給日より一定期間、当行に年金受け取り口座をご指定いただいているお客さまがATM操作をした場合、ATM画面に「電話de詐欺」への注意呼び掛けを表示しております。



振り込め詐欺等撲滅強化推進期間 【平成29年10月】

全国銀行協会が10月を「振り込め詐欺等撲滅強化推進期間」に定めていることから、県内全店において10月13日の年金支給日を中心に、「STOP! 電話de詐欺」ポケットティッシュを配布し、特殊詐欺被害の未然防止に向けた活動を展開いたしました。

さらに、警察や地元金融機関と連携して、電話de詐欺の被害未然防止を呼び掛けるイベントを千葉、成田の駅前で実施し、注意喚起を行いました。

成田支店には「ゆるキャラグランプリ」でご当地キャラクター日本一に輝いた「うなりくん」も来店し、イベントを盛り上げました。



千葉駅前イベントの様子



当行成田支店

70歳以上のお客さまのATMお振込制限を開始 【平成29年10月】

金融犯罪への対策として、当行はこれまでも窓口での現金お引き出しの際の声かけ等を行ってまいりました。しかしながら、お客さまをATMに誘導して預金を振り込ませる「還付金詐欺」などの金融犯罪はいまだに多発しております。

ちば興銀では、ひとりでも多くのお客さまの大切な預金をお守りしたいという思いから、一部のお客さまについては、お振込を制限させていただくことにいたしました。



ATM画面でのお振込制限のお知らせ

対象となるお客さま	70歳以上で、過去3年間ATMでのキャッシュカードによるお振込がない個人・個人事業主のお客さま
制限の内容	ATM(当行、振込取引可能な他行)で当行キャッシュカードによるお振込ができなくなります。
実施日	平成29年10月11日(水)より
キャッシュカードによるお振込をご希望のお客さま	平成29年10月11日(水)以降、当行本支店の窓口にてキャッシュカードによるお振込ができるようにお手続きいたします。



お客さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。

さらに快適で機能的な店舗へ

お客さまの利便性向上をめざし、店舗の新規出店・新築移転をすすめております。

西葛西支店・新規出店！【平成29年9月】

当行は都内2店舗目となる西葛西支店を新規出店いたしました。

東京メトロ東西線西葛西駅から徒歩2分にオープンした新店舗には、ゆったりとした「個別相談ブース」を設置し、資産運用などをはじめとするお客さまのマネープランについて、じっくりご相談いただける環境を整えております。

また朝8時から夜9時まで利用可能な「ATMコーナー」や、さまざまな金融情報を発信できる「セミナールーム」も設けました。



個別相談ブース



おおたかの森支店・新築移転【平成29年6月】

新店舗は、移転によりロードサイド型店舗として生まれ変わりました。

お子さま連れのお客さまにも安心してゆっくりご相談いただけるよう、キッズスペースや多目的トイレを設置いたしました。

365日、夜9時まで利用可能な「全自動貸金庫」200ケースを設置しております。



キッズスペース



オープン日には、流山グリーンフェスティバルにご参加いただいた地域のお子さまの「ぬり絵」をロビーに展示いたしました。

流山グリーンフェスティバルの様子



CSRの取組み～地域社会・地域経済への貢献～

ちば興銀は、地域とともに歩む銀行として、これからもさまざまな活動を通して地域社会・地域経済へ貢献してまいります。

「スーパーマリンフェスタ2017」で当日来場者限定イベントを実施！

平成29年11月23日、千葉ロッテマリーンズのファン感謝デー「スーパーマリンフェスタ2017」において、ちば興銀ブースを出展し、当日来場者限定のキャンペーンイベントを実施しました。

当日は雨天にも関わらず、多くの皆さまに当行ブースへご来場いただきました。新規でちば興銀とLINE友だち登録をしていただいたお客さま先着500名さまに「ふわふわ・もこもこブランケット」をプレゼントしました。

またWチャンスとしてマリーンズグッズが当たるガラポン抽せんにも多数ご参加いただき、盛り上がりました。



ちば興銀マッチデー「CKB OCEAN FESTIVAL」開催！

平成29年8月11日、ZOZOマリンスタジアムで行われた千葉ロッテマリーンズvs埼玉西武ライオンズの試合を、ちば興銀マッチデー「CKB OCEAN FESTIVAL」として開催いたしました。

試合当日、先着20,000名さまに、マリーンズキャラクターとコラボしたオリジナルうちわをプレゼントしました。

さらに、ちば興銀ブースにおいては、ご来場者の皆さまと一緒に楽しめるさまざまなイベントを開催し、大変な盛況となりました。



金融教育活動

地域経済の将来を担う児童や学生達の金融教育に携わり、普及活動に取り組んでおります。



「エコノミクス甲子園」千葉大会

金融知力普及協会が主催する全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」の千葉大会(千葉銀行と共催)を当行本店にて開催



夏休み体験隊「サマーキッズスクール2017」

県内の小学5、6年生を対象にZOZOマリンスタジアムで11回目となる金融教育・しごと体験イベントを実施

社会奉仕活動

未来を担う子どもたちの安全と健全な育成を願い、寄付・募金活動などにも積極的に取り組んでおります。



「小さな親切」運動の推進

33都道府県が参加する全国的組織「小さな親切」運動の千葉県本部として活動被災者支援のための募金活動などを実施



環境への取組み

環境の保全と美化に努め、千葉県の豊かな自然環境を未来に引き継いでいくための活動を行っております。



ちば興銀の森

匝瑳市新堀海岸県有林の再生をめざして、毎年1,000本の植栽や草刈による海岸保安林再生活動を展開
これまでに計4,000本の植栽を実施



文化・スポーツ活動

地域の文化活動やスポーツ振興のため、長年にわたり、さまざまなイベントを協賛・開催しております。



ちば興銀コスモスコンサート

そごう千葉店前JR連結口広場にてミニコンサートを24年間連続で開催



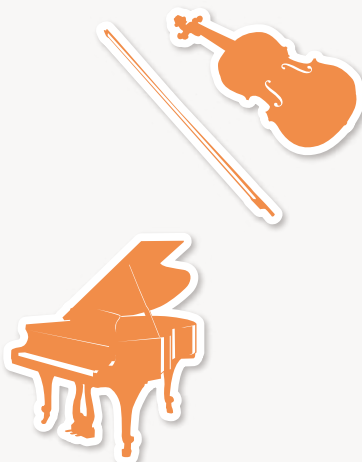
千葉興業銀行杯 親善ゲートボール大会

千葉県ゲートボール連盟との共催により、28年連続で開催



創立65周年 ちば興銀コスモス劇場

創立65周年を記念して、公益財団法人千葉県文化振興財団が主催する「親子deオペラ鑑賞デビュー『シンデレラ物語』」事業を協賛し、3会場4公演をちば興銀コスモス劇場として開催



企業理念

—— 地域とともに ——

私たちは、地域とともに歩む銀行として、人々の幸せを求めて、豊かなふるさとづくりに努めます。

—— お客さまのために ——

私たちは、積極的にお客さまのニーズに応え、創造性を発揮し、より質の高いサービスの提供に努めます。

—— 「親切」の心で ——

私たちは、心のふれあいを大切にし、自己を磨き、親切ナンバーワンをめざします。

〈REPORT2017 千葉興業銀行中間ディスクロージャー誌〉

本誌は、銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務および財産の状況に関する説明書類)です。このうち、財務データ(財務諸表等の諸資料)および自己資本の充実の状況等について(自己資本比率規制第3の柱(市場規律)に基づく開示)は、別冊に記載しています。

本誌に掲載の諸計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

〈別冊のご案内〉

銀行法施行規則第19条の2および19条の3、金融機能の再生のための緊急措置に関する法律第7条に基づく開示事項に関して別冊を作成しています。



 千葉興業銀行

〒261-0001
千葉市美浜区幸町二丁目1番2号
TEL.043-243-2111
<https://www.chibakogyo-bank.co.jp/>